

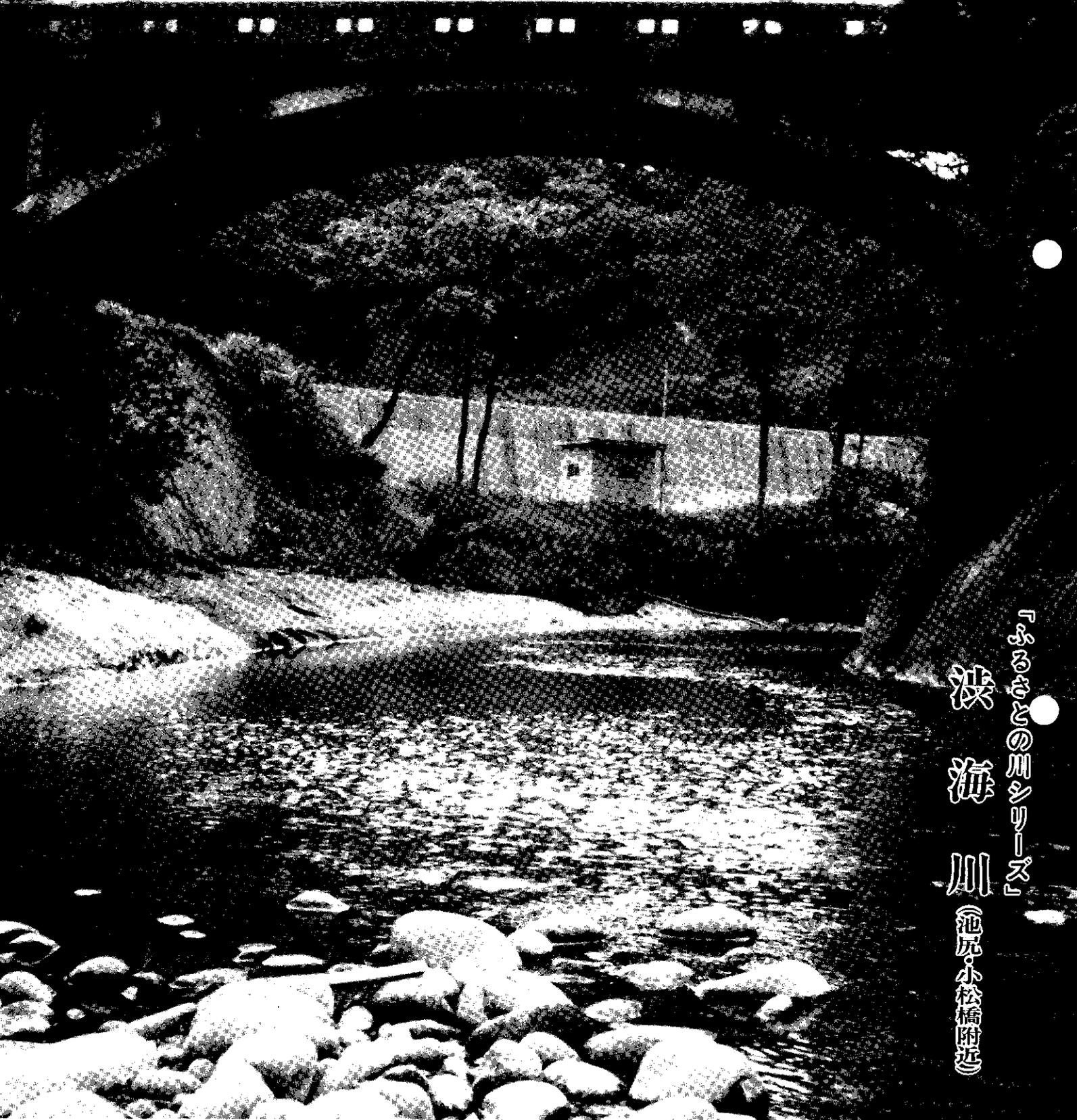
広報

# まっだい

1985/

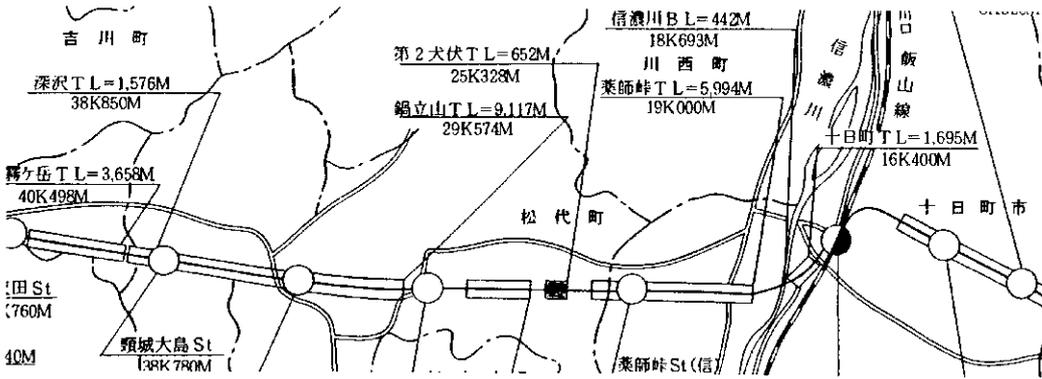
6月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和60年6月27日 第307号



「ふるさとの川シリーズ」  
渡海川  
〔池尻・小松橋附近〕

《人口の動き》 男3,032(-5) 女3,060(-1) 計6,092(-6) 世帯数1,679(-2)  
6月1日現在 出生5 死亡9 転入14 転出16

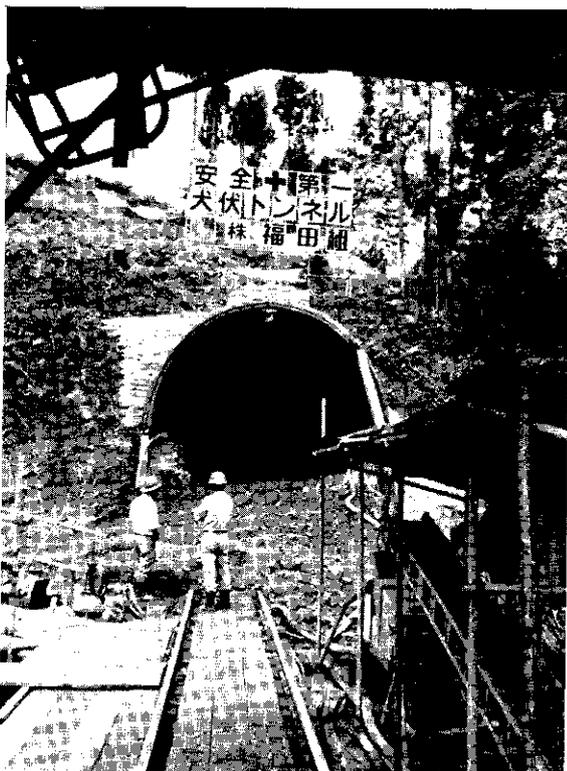


# 犬伏トンネル掘削始まる

再開された北越急行建設工事で新規第一号となる犬伏トンネル坑口で去る8日、工事の安全祈願祭が行われ、掘削が始まった。

工事は延長652mのうち210mが(株)福田組によって進められている。土かぶり薄い、入口よ

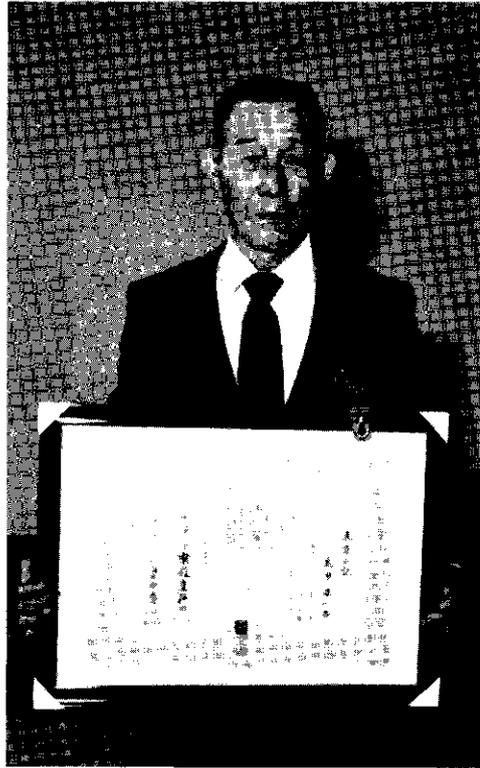
り30mは、手掘りによって行うなど細心の注意がはられ、高さ6m50cm程のトンネルも、最初上半分、その後下半分という工程で進められている。6月21日現在の進捗は23mです。国道から300m程入った現場では、機械の音が鋭く響き渡っていた。



● 走れ！われらの北越急行

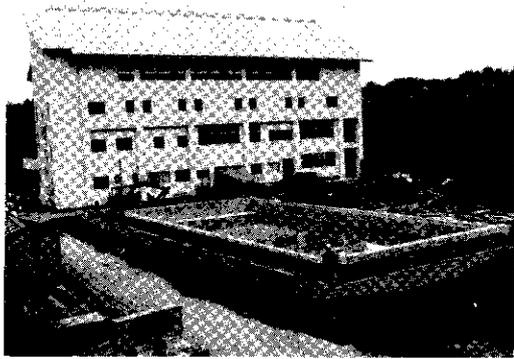
# 武田雄一郎氏

## 藍綬褒章を賜る



四月二十九日付けで元松代町消防団長の武田雄一郎氏が藍綬褒章を賜り、五月三十日千代田区霞が関の人事院ビルで褒章を伝達され、その後皇居内新宮殿「春秋の間」において拝謁に出席されました。

武田さんは、昭和十三年に入団以来部長、分団長と要職を歴任し昭和二十九年に退職したが町の要請により昭和四十四年から昭和六十年三月まで団長の職に着かれた。在任三十一年余りにわたり消防の業務に献身し常に消防力の強化に努めて消防活動の推進に寄与されました。またことに公同の事務に勤勉し功労顕著であることにより藍綬褒章を賜ってその善行を表彰せられたものであります。



## 完成間近

### 孟地小 プール

孟地小学校に待望のプールが出来た。5月21日に午前10時から起工式が行われた。学校付属プールとしては、当町第一号となる。

25m、5コースの本体のほか上越地方では初めての水位調整施設が付けられる。これは本体の脇の地下に55トンの水を入れた補助タンクを備え、児童の背の高さに応じて、自由に水位を調整できるようにしている。

スタート台、シャワーなど付属施設は雪による被害を考慮してすべて取り外せるようになってる。

総工費は3、780万円です。7月20日完成を目指す。

## 交通安全

### 指導員に

### 三名の女性が仲間入り

松代町における歩行者事故の防止及び運転者等に対する交通安全指導の強化を図ることを目的に交通安全指導員が活躍しています。

指導員の主な仕事は、子どもたちの登校の際に、横断指導旗や手で合図をして、安全に横断させるなどその保護、誘導をしています。また、広報車で町内を巡回し、地域の方々に交通安全を呼びかけ、火災等の緊急時には、いち早く出動して交通指導を行っています。

- 笠原 至 (松代)
  - 品田 数四 (松代)
  - 小島 芳映 (松代)
  - 関谷 松雄 (松代)
  - 柳 卯一郎 (松代)
  - 山賀巳喜夫 (松代)
  - 小島 正人 (犬伏)
  - 小堺 喜一 (蒲生)
  - 小堺 伸一 (蒲生)
  - 小堺 博文 (儀明)
  - 米持 道男 (室野)
  - 中沢 実 (木和田原)
  - 高橋 笑 (松代)
  - 樋口サカエ (松代)
  - 山賀サワ子 (小荒戸)
- 以上、十五名です。  
(敬称は略)

## まがり角 とまる習慣

### 待つしつけ

まがり角 とまる習慣 待つしつけ

子供の

# 友達づきあいを考える



最近の子供たちを取り巻く生活環境は、以前に比べて変わってきていますが、友人関係——子供につきあい——においても、さまざまな面で変化しているといわれます。

子供の数が減り、兄弟も少なくなつたこと、近所のさまざまな年齢の子供同士があまり遊ばなくなつたこと、テレビを見たり、独りでゲーム遊びをすることが多くなつたことなどのさまざまな理由が考えられます。最近話題になつている小・中学生の「いじめ」の問題も、子供につきあいの変化によるところが大きいのではないのでしょうか。

子供のころの友達づきあいは、その後の人間形成の基礎となる重要な事柄です。保護者の方も地域の皆さんも、「子供のことだから」と無関心でいることなく、どうすれば子供たちが健全な友達づきあいができるようにするか、改めて考えてみようではありませんか。

## 友達づきあいは人間形成の基礎

### 子供は遊びやけんかを通して成長する

子供は乳児期を過ぎると、外に出て遊びたがり、友達をつくるようになります。しかし、それまで保護者に見守られながら育つたため、その遊び方は自己中心的で、初めのうちは友達とうまく協調し合うことができません。遊んでいても、すぐにおもちやの奪い合いや場所の取り合いを始めてしまいます。

しかし、保護者の手から友達とのつきあいへと行動範囲を広げた子供は、やがて遊びやけんかなどの経験を通して、自分を

主張したり、相手の主張を受け入れたりすることを学んでいきます。同時に、大人になってからの人間関係の基礎や守るべき社会の習慣を身につけていくのです。

「友達づきあい」に  
影響する家庭のしつけ

子供が小・中学校へと進み、団体生活を始めるようになると、友達づきあいにも個人差が出てきます。

### 「友達づきあい」に 影響する家庭のしつけ

一般に、つきあひ方の下手な子供は、自分の気持ちを友達にうまく伝えることができずに、孤立してしまつたり、活発な友

達の言いなりになってしまふことがあります。一方、自己中心的で他人の気持ちに気を配ることのできない子供は、友達に対して独善的な振舞いをしがちです。

このようにつきあひ方の上手、下手は、子供一人一人の資質によることもありまふ。しかし、それにもまして家庭でのしつけのあり方、乳児期以降に友達づきあひの経験をどれだけ多く積んできたか、などによる影響のほうが大きいのではないのでしょうか。

人間形成の基礎となる子供の「友達づきあい」——保護者の方は、その重要性を理解し、子供の健全な成長の後押しをしてほしいものです。

## 親の「モノサシ」では測れない 現代の子供たち

親が子供をしつけるとき、親は自分の子供時代を基準に考えがちです。しかし、親と子供の間には、一般に20年から30年の年月の開きがあり、どうしても親の「モノサシ」では測れない問題が出てきます。

子供へのしつけや友達づきあひについて考える前に、親は、現代の子供たちを取り巻く次のような状況をまず知る必要があるのではないのでしょうか。

★世帯あたりの子供の数が減り、その結果、兄弟間でもまれることが少なくなつた

★家庭での勉強時間が増えたり、塾、けいこ事などに通う子供が多くなつたため、友達と遊ぶ機会が減つた

★特に都市部などでは、隣近所と親しくつきあふ家庭が少なくなり、近隣の子供同士、特に年齢の異なる子供同士の遊ぶ機会が減つた

★テレビ、漫画本、ゲームなどの影響で、家の中で独り遊びをする傾向が強くなつた

# 子供にいたわる心や やさしさの気持ちをもたせよう

相手の身になって  
考えることの大切さ

他人をいたわる心、やさしい  
気持ちをもつこと——子供に限  
らず大人にとっても、円滑な人  
間関係を築く基本といえます。  
一般に、だれでも人間関係な  
どで、イヤなことやつらい目に  
遭い、心の痛みを感じるものが  
あります。大人なら相手の立場  
に立って物事を考えられるので、

相手の心の痛み  
を察して、いた  
わってあげたい  
という、やさし  
い気持ちをもつことができません。  
しかし、子供の場合は、年齢や成  
長の度合いにもよりますが、「相  
手の身になって考える」のは、  
なかなか難しいようです。それ  
なりの「学習と経験」が必要な  
のです。



## 家族が子供に手本を示そう

では、他人をいたわる心、や  
さしい気持ちをもたせるには、  
ふだんどういうことに気をつけ  
ればいいのか。  
まず大切なことは、子供にと  
って一番身近な存在である家族  
が、お互いにいたわり合って暮  
らすことです。そして、他人に  
対して常にやさしい気持ちを抱  
き、お互いがいたわり合いなが  
ら生活している姿を見せること  
です。  
また、子供に動物や小鳥など  
を飼わせたり、植物を育てさせ  
たりするのも、一つの方法です。

# 家族ぐるみの交流で 子供の「情報交換」を

最近、近隣の家族同士の交  
流が、以前に比べて少なくなっ  
ているといわれます。しかし、  
家族同士の交流は、子供の健全  
な成長を助けるばかりか、親に  
とつてもプラスになることが多  
いものです。

例えば、親は、子供がどんな  
友達とどういう遊びをしている  
のか、また、友人関係の中で、  
わが子がどんな立場にいるのか  
などを知らなくてはなりません。ま  
た、子供の成長についての情報

交換もできます。家庭では気付  
かなかったわが子の一面を伝え  
られてびっくり——ということ  
もあるでしょう。  
他人の家庭に行くことは  
子供の成長にプラス

一方、家族間の交流は、子供  
自身の成長にも大きくプラスし  
ます。子供が、自分の家族以外  
の大人——性格も考え方も違う  
いろいろな大人との接触を通し  
て、人間の多様性を知ることが



できます。他人の家庭に行くこ  
とは、子供にとって大切な勉強  
なのです。  
わが家の子供の遊び場に開放  
したり、二、三の家族と一緒に  
ハイキングに出かけたりして、積  
極的に交流を深めたいものです。

## ●自主性を尊重する

親が子供に過剰な期待をか  
けすぎると、子供は委縮して  
しまいます。また、子供の遊  
び相手や遊び方などに細かく  
口出しするのはよくありません。  
せつかく芽生えてきた積  
極性を摘み取ってしまう  
ことになりかねないから  
です。子供の自主性を尊  
重しましょう。

## ●積極性を 身につけさせよう

幼児期には人間として  
の知識や能力を急速に獲  
得していきます。こうし  
た時期にこそ体を動かす  
遊びを通して、積極性を  
身につけさせる必要があ  
ります。積極性が、多く  
の友人関係をつくるうえ  
で、より効果的だからで  
す。

## ●遊び道具の与えすぎは 考えもの

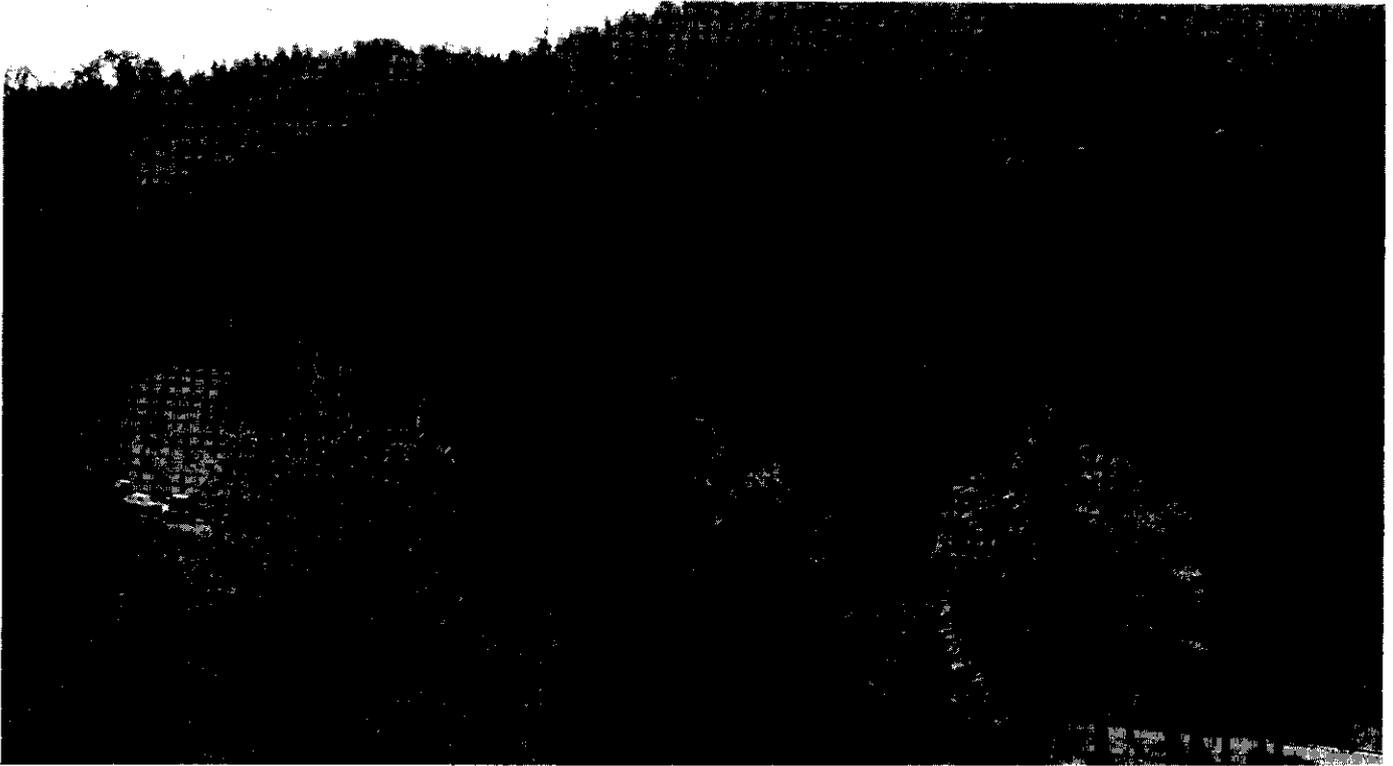
おもちゃ、ゲーム、テレビな  
ど子供の遊びの対象となる物  
がたくさんあります。しかし、  
遊び道具の与えすぎやテレビ  
の見すぎは、体を使わない、  
独り遊びを好む子供にしてし

# 子供を「つきあい上手」に するための四つのポイント

まわらないとも限りません。  
創造性や探求心を育てるた  
めには、遊びの中に工夫する  
余地のあることが大切です。  
また、遊び道具が十分でなく  
ても、お互いが譲り合うこと  
で友達つきあいをうまくする  
ことができる、というこ  
ともあるでしょう。

●けんかも成長の一過程  
子供の世界にけんかは  
つきもの。見方によつて  
は好ましい成長の一過程  
です。けんかの仕方が危  
険な場合は別にして、大  
人がすぐに手や口を出す  
のは考えもの。子供はけん  
かを通してお互いの考  
えを知り、相手を認めて  
譲ることも身につけてい  
くのです。自分の主張を  
言い張るか、引つ込める  
かの「呼吸」を覚え、友  
達とのつきあいも上手になっ  
ていくのです。



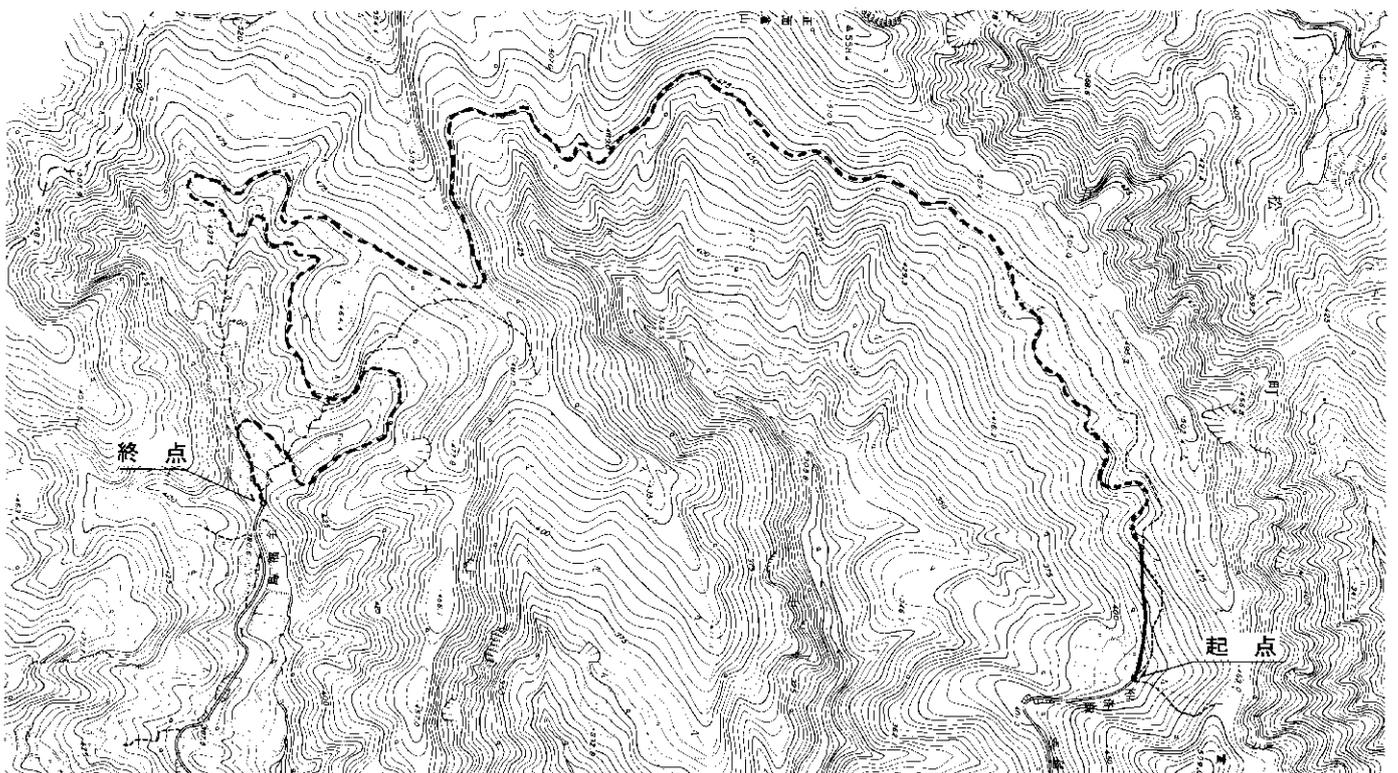


林道  
室野城山線  
3,500 m  
開設にいとむ!

全体計画では、開設延長3、500 m幅員4 m、総事業費、1億6千万円、受益面積236 haで昭和65～66年開通の見込である。

本年度は、延長600 m幅員4 m、事業費2,2483千円が計画されている。

開通後は、室野城山入口(県道月池、松代線脇、城山橋)から、福島部落までの延長は約9900 mになり、造林作業路の開設、既植林造林地保育作業等(関係部落、室野、福島、奈良立)の機動性を持たせるとともに、大島村、牛ヶ鼻の造林作業路を始め松之山町計画の牛ヶ鼻線と相互のり入れも可能となり、森林組合間の労働力扶助等、この地域の森林開発に期待がもたれる。



# 健康

## 体力づくり

シリーズ③

### むし歯予防ヒント

#### 一、家庭で行うむし歯予防

(一)じょうずなおやつとの与え方  
 ○おやつは一日中ダラダラと与えないようにしましょう。

○歯につきやすいものや糖分の多いものはひかえましょう。

(二)じょうずな歯のみがき方  
 ○「食べたらみがく」習慣にしましょう。

○「寝かせみがき」や「立たせみがき」で大人がみがいてあげる事も忘れなようにしましょう。

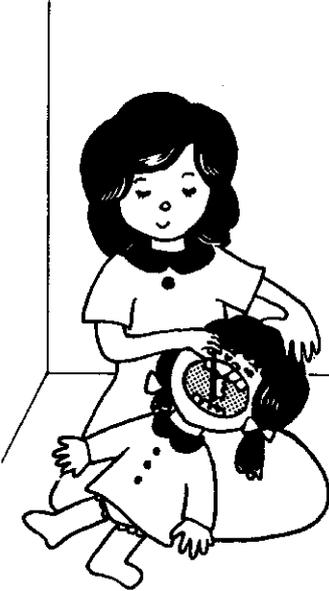
○歯ブラシは先の硬めのものを選びましょう。

#### 二、専門家のもで行うむし歯予防

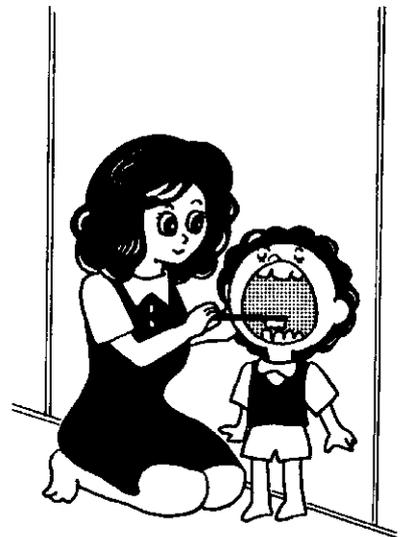
(一)フッ素塗布  
 年2回定期的に受けましょう。(二、三才児を対象に町で実施しています。)

(二)サホライド塗布  
 乳歯の小さなむし歯の進行を止める方法です。町で年2回実施しています。

#### 〈寝かせみがき〉



#### 〈立たせみがき〉



#### (三)歯科健康診査

1才6ヶ月児、2才児、3才児の歯科検診を実施しています。必ず受診し、小さなむし歯は早めに治療しましょう。

#### 歯のひとくち知識

一、子供の歯は、妊娠2〜3ヶ月頃からすでに作られます。胎内で丈夫な歯をつくるためには、お母さ

んがバランスのとれた栄養をとる事が必要です。

二、乳歯は食べたり、発音を助けたりするほかに、顎の骨の発育を正しくする役割があります。

三、健康な乳歯は永久歯を正しい歯ならびにみちびきます。

四、悪くなった歯を放置しているとかめなくなるばかりか時には、腎臓や心臓、関節などの全身にも害を与える事があります。

五、フッ素はむし歯になりにくい強い歯を作ります。



#### 社会体育事業 紹介その一 //ガンバッテ・います 指導員養成講座//

町では、町民の体育・スポーツ活動への多様な要求に対応できる指導者の養成を図ることを目的として、年10回を計画し、内容は実技を中心とし、講師も町内外からお願いし、全講座終了者には、町公認スポーツ指導員に認定し、地域で活躍していただきます。



# 体験的活動を通じた青少年育成

活動を始め、今年も四月下旬からシーズンにはいつています。毎週、日曜日の朝、カイン高い声が町総合センターに集まってきました。集まってくる人達もさまざまです。

オハヨウ!! オハヨウ!!  
大人と子どもたち、仲間同志のさわやかなふれ合いです。また、仲間づくりの場でもありません。

日頃子どもたちに接しながらどんな活動をしているか紹介してみます。

## 定期活動として

毎週、日曜日の朝六時三十分ラジオ体操のあと総合センターを出発します。

個々の力やそれぞれの体調にあった状態で約3kmを走ります。幼児や力のない人達は歩くこともとりいれています。

健康の保持と増進、体力づくり、気力と体力の強化を目的に全員が最後までやりぬき、そのなかにも友愛と協力の精神を宿らせるかあるかと思えます。特別活動として。



## 1、高田城跡一周ロードレース

これは子どもたちの「強化」と「体験」の意味をもって毎年参加しています。広い世界に目を向けさせることは、とかく過保護な現代の

子どもたちに、何をなすべきか大きな目標を与えるからです。小・中学生の会員のなかにはなかなかの実力者が数名います。そのなかから希望者をつのつて参加しました。参加者全員が上位にはいつていることは成果の

現れと表していると思います。大会前、事務局が中心になり数日間の練習、大会にむけての心構え、小学生から社会人まで参加する大会のため、いろいろな「マナー」や耐えぬく精神などの指導がなされています。また、よりよい社会性を養うための努力もかかしてはいけな

いと思えます。陸上競技、特に中・長距離は自分とのたたかいです。優秀な成績をおさめるためには、健全な精神力、強靱な体力と気力、それに日頃、鍛えられた技術がかねそなえられなければなされないことであります。陸上競技に限らず、スポーツの社会では「継続は力なり」ということが言われます。運動をやっている青少年は、その日その日がつみ重ねになります。正しい技術を身につけ、純粋な気持で「継続」し「努力」をしてほしいと思えます。

## 2、城山ハイキング

この行事は子どもたちが、よりいっそうの親睦を深めると同時に、子ども同志や大人との心のふれあいの場になっています。それに大自然のなかでの公共物が草木とのふれ合いを大切に

する心を養いながらも、かつて我々が子どもの頃、山中を駆けめぐり、木登りをして遊んだように、テレビにはかりかじりついでいる現代子には、もつと野生

味ある自然へのふれあいも大切なのはなからうかと思えます。スポーツの殿堂である町民総合体育館、それをとりまくいろいろな施設を大切に利用し、自分達の力をのばし、健全な心身の育成に努力してほしいと思

います。鉄は熱いうちに打てといわれます。若いうちに育てた良い芽はきつと町のため、社会のために役立つものと信じています。

## ラジオ体操は合理的な運動。

### ギックリ腰の予防にも……

年齢や性別に関係なく、誰にでもできる身近な運動にラジオ体操があります。解剖学と医学の知識に基づいてつくられた合理的な全身運動ですから正しく行なえば、全身の血行を促進し、各関節をほぐし、筋肉に弾性が戻ります。ギックリ腰の予防にも有効。



中学生をお持ちのご両親へ

## 兄弟仲

例えば、中学3年生の長男と小学校6年生の長女というような、3歳以上離れた2人兄弟の場合、“1人っ子が2人いる”と考えたほうがより現実的です。親の世代が抱えている兄弟姉妹のイメージで、今の子供たちを理解しようとする、子供は反発したり、あるいはシラケてしまい、親子の間の精神的なギャップが一気に表面化しないとも限りません。

“血を分けた、たった2人の兄弟なのに……”と嘆く前に、核家族化が一段と進んだこと、1世帯あたりの子供の数が減ったこと(少子化傾向といいます)などによって、兄弟のあり方そのものが大きく変わってきていることに目を向けていただきたいと思います。

### ■兄弟でもクールな関係

こんな例があります。

高校生になった兄が、念願のステレオを買った。25万円。毎年もらうお年玉を、そっくり貯金し続けて10年。やっと手に入れた“宝物”を、兄は自分の部屋に置いて楽しんでいる。中学2年の弟は、うらやましくてしょうがない。聴かせてほしいと兄に頼むと「いいよ」とうなずきながら「1回200円だよ」と兄。「当然だね」と弟が受ける。このやりとりを聞いていた母親が口をはさんで「兄弟の間で、どうしてお金のやりとりを？」といぶかしそうな表情。「だって、これはぼくが自分のお年玉で買ったんだ。弟が1回聴けば、その分“減価償却”が必要。200円もらうのは当然」と兄。

——この例は、極端かもしれませんが、いまの子供たちの兄弟の有様を象徴的に物語っているといえます。そこにあるのは、個人と個人のクールな関係であって、兄弟という言葉がかつて持っていた一種の情緒的な要素はなくなってきているのです。ですから、親が、自分の子供のころの多人数の兄弟関係を今の子供に当てはめようとするに、そもそも無理があるのです。

### ■平等権利意識を持つ子供たち

2人っ子の場合、ある意味ではライバル同士なのです。対等意識が強く、上の子が1年浪人したら、下の子は、自分も同じように“1年浪人できる”ことを権利として主張したりします。そして、兄だから姉だから一目置くとか、何かを先にやっていいとか、そんな意識はなくなってきています。あるのは、平等権利意識です。

ですから、「お兄さんの言うことを聞きなさい」という親の言葉が、そもそもピンとこないのです。「同じ親から生まれた、血のつながった兄弟でしょう」——これも、「事実そのとおりだけど、それ以上のものではない」と覚めた言葉が返ってくるばかりです。血はつながっているが、そして、同じ屋根の下で暮らしているが、あくまでも別々の個体——という認識を親がまず持つことです。

「お兄さんの言うことを聞きなさい」と長男意識を強調したり、逆に下の子にガマンを強いたり、また、男の子を何かにつけて“優遇”したりするのは禁物です。こうした親の態度は、子供たちを深く傷つけるからです。一種の“精神的な扱いの差”に耐えられなくなる——「どうせオレなんか、わたしなんか」という気持ちになり、あとは引き金さえあれば非行に走ってもおかしくない心理状態に陥りがちです。

親と子の意識の溝を埋めること、そのためにも、ふだんからザックバランな話し合いをしたいものです。

【指導】 警視庁世田谷少年センター・カウンセラー 岩佐壽夫



## 選挙ひとくちメモ ⑤

### 選挙運動はいつできるか

① 投票所から三〇〇米以上離れた  
ます。

② 選挙運動の準備行為として、  
補、選挙運動の準備行為として、

政党の公認を求め、候補者選考会、推せん会、選挙事務所、自動車、拡声器の借入れの交渉、ポスター、看板、ハガキの印刷等はできます。これらについては立候補、選挙運動の準備行為であって選挙運動ではないとされています。

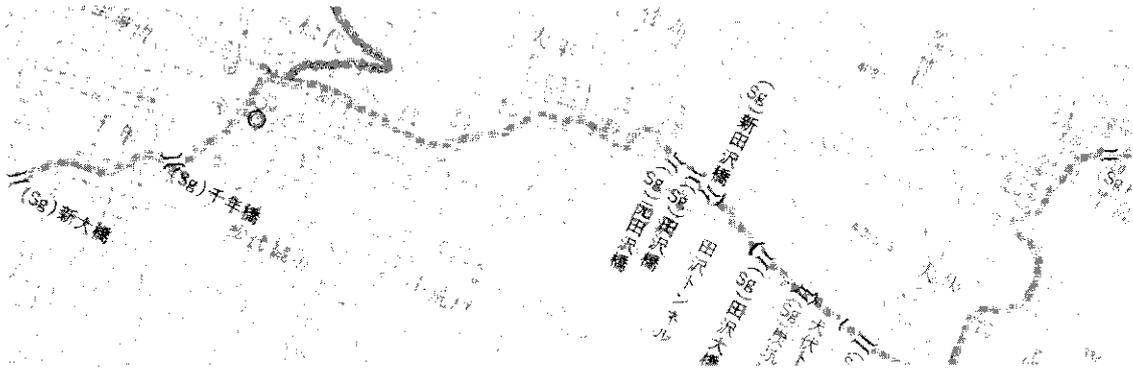
## ほたるの初認日

51年 6月28日
52 // 6 // 21 //
53 // 6 // 19 //
54 // 6 // 13 //
55 // 6 // 15 //
56 // 7 // 5 //
57 // 6 // 13 //
58 // 6 // 25 //
59 // 6 // 30 //
60 // 6 // 16 //

観察者 関谷八郎氏  
観察場所 大塚緑代

ほたる科のこん虫の総称。多くは尾の部分に発光器があり、卵もサナギも発光する。代表的なものはゲンジボタル、夏、水辺に現われる。その他、ヒメボタル、オハボタルなどがある。

**部落紹介シリーズ (26)**  
**菅刈部落紹介** (紹介者 関谷 太平氏)



我が菅刈部落は、松代町の中央にあり、前方眼下に田沢部落として、大平部落を経て松代へという部落です。町の中心地松代へは、距離的に恵まれていますが、バス通りでないため用足し

は全部徒歩です。

昔、一六八一年天和検地の絵図を見ますと、高田海道の大島、蒲生、松代、大平、菅刈、犬伏、そして妻有に番所がそれぞれあり(妻有海道とも言われた)後には戦国海道とも言われ、越後の国と江戸を結ぶ最短距離の海道と知りました。菅刈の氏神を調べますと、松茸権現創立頃と松代郷土誌にあり、相当古くからの部落であることがうかがえ

替えに、部落民一同は祈願と共に萱の運搬に協力しました。

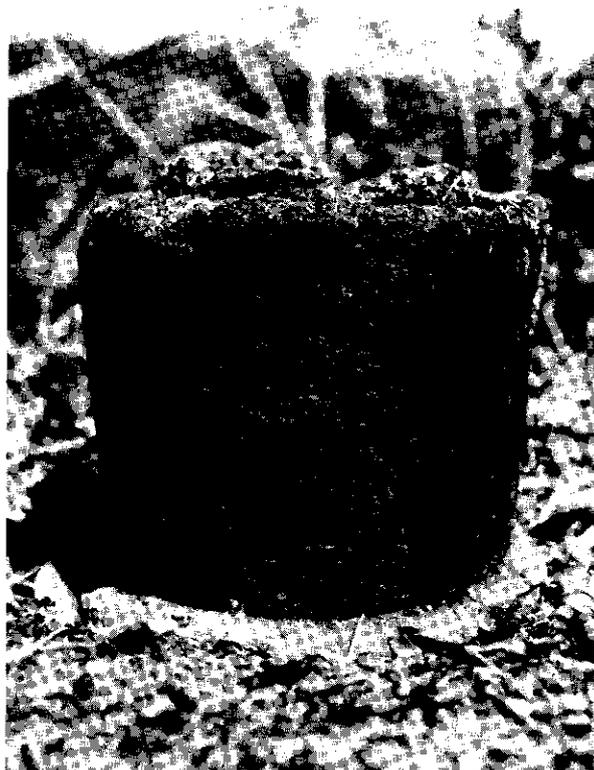
部落を離れると馬頭観世音の塔があり、右はつまりみち、犬伏城を見ながらつまりみちへぬける。左は、まつおさんとある。犬伏城の百メートル位手前に松が一本(花立の松)あり、大切にしていたが三十年位前に枯れてなくなりしました。昔、武将は松茸神社へ花を立てて戦勝祈願したものでしょう。残念ながら、奉



ます。

昭和の中期には五十二戸と繁栄しましたが現在では三十一戸になりました。大同二年、坂上田村麿が飛驒匠に命じて建てられた最古のお宮であり、何度かの再建があったそうです。私達も記憶がある昭和三十五年頃の屋根

納者の名前や年号等は記されていません。興国二年(一三三四年)、犬伏城が原田喜太郎によって築城されている。正平十七年(一三六二年)越後守護職であった上杉憲顕は、部将丸山禅正を犬伏城主とし、蘆谷の荘を支配させた。その後、上杉氏の



部将がつづいて犬伏城主となつたようである。やがて上杉家は権を握るようになったため、越後守護職であった上杉房能は力の挽回を図つたが、敗退し松之山天水の露と消えた。(今に残る管領塚である。)又、犬伏城主清水采女正も房能に味方し兵を挙げたが、敗死した。

話は変わって、寺屋敷(犬伏城山の北の地)より百米の範圍内に鎮守の島と言われる屋敷墓地があります。鎮守の森には石の、ほくら太神宮と彫りつけられた塔が今日もはっきりと残っています。(写真参照)次に墓地ですが、そこには四つの塔があります。寛保三年(一七四三年)

法相明説信女、寛延二年(一七四九年)密峰戒室禪定尼、寛政十年(一七九八年)山良燈禪定門、他にも一つありますが文字不明でわかりません。いずれにしても、約二百年ほど前から人が住んでいたことがわかります。寺屋敷家屋敷は現在三百歩位の田圃である。比所に居住していた時の姓は番羽であった。何時頃の年代に会沢に引きあげたかは不明であるが、現在その一族は茨城県に在住している。

又、松芋山にふれてみたい。昔から東部六十六ヶ村の惣鎮守と言われる参道も、伊沢地区を除いた他部落は殆ど馬に乗ったり、又徒歩で登ったことだった。松之山方面からは、七ツ詣りに

三時四時起きして来たりしたことは話題に残っている。坂の中程に小平がある。休場と称し誰しも北所で一服、昔も今も変わらない。現在、犬伏林道が完成し、参拝の方は殆ど車で行くようになった。しかし、犬伏城を始め峰方連峰、高松連峰、キタ五葉の松など、昔と変わらぬ景色の魅力がいっぱいである。松芋山頂上キタ五葉の下の菅刈部落共有杉林の中にある。文政十年熊之塔の建立(一六二七年前)の由緒を知りたかったが残念ながら知る事は出来なかった。おそらく、空海法師が山にお登りになられた時の何かの縁ではないだろうか。



田沢線は大正三年頃開通、馬車が十日町から運行したものである。今、田沢・菅刈間の馬車道は不通である。昭和三十八年、太平・小荒戸線も完成し駐車場も立派に出来た。三十九年より大道桐山線も菅刈地内は完成した。道路維持には大変だが、車で作業を営んでいる。

過疎を顧みるに、昭和三十八年七月の大豪雨の為、全耕地が水害で泥に覆われ復旧工事に耐え兼ね離農致したのが始めとなり、二十年間に二十一戸の減少となった。田が十町歩減反となり、遺憾ながらやむを得ない。町も人口が半分になりまして、最近に離農された皆様方に、交通の便は良くなったし故郷の魅力

力を忘れさせないよう、観光面に力を注ぎ都会との交流を高めていく事を部落だけでなく町民の皆さんと一体になってお願いしたい。

郷土誌の火災記録(文政十三年から昭和三十一年まで)があります。菅刈では一戸だけで類

焼がなく幸いでした。文政十三年正月に釈迦堂が火災にあり、その再建の為の奉加帳があり、当時東部六十六ヶ村の他中沼、中平・名ヶ山から奉加をお願いしております。如何に部落が困窮していたのか、又、釈迦堂に資格があったのか分かりませんが昭和になってからも数回の火災が発生致しております。

今一つ、天和三年の御検地水帳書控があります。それと同綴りに安永八年松芋山内百四十町歩の私下陳情書を川浦御役所へ出した控がありました。菅刈村、中子村、芋鳴村とあります。昭和四十一年、菅刈分校改築。同年公民館建設。旧菅刈分校の一部を建て直し、中に旧釈迦堂の彫刻柱及び弘法大師像、観世音菩薩像、他古き仏像三点を安置し、後世に記念すべきものと保管しています。

社会福祉の向上により老人もクラブで有意義に活動しています。

昔話一つ権現様は麦がらにすべって麻で目をついたから菅刈は、麻と麦は作ってはならぬとさ/と聞いている。

大まかな説明、又雑文になりましたが紹介を終わらせていただきます。

# おじやまします

## 瀬沼製麺工場



今回は、役場前にある、瀬沼製麺工場をおじやまします。

お茶が出てらあの、と奥さんの声、(10時のお茶の時間である)7人の従業員の右側には年季の入った箱がある。(包装される前の乾そばが入っている)

商売上、都合の悪いことは結構ですが、……そんな冗談を言いながら話を伺う。

大正2年に、松代に来て(小千谷市)そうめんの製造を始めたが、後にそばの製造を始めたという。『日の出そば』のデザインも、全て自分で考えられた

という。仲彦さんで3代目)従業員数や、勤務時間などについて聞いた後、作業場へ案内してもらう。

原料のそばは、90%以上が他からで、地元のは少ないという。(そば粉は自分のところで製粉する)

ミキサーで捏ねて、ロールに3〜4回通りぬけると、でてくる時には、細く長い麺が(約2m 50cm位)自動的に、乾燥室へ運ばれるように設備されている。

天井には、大きな羽根(プロペラ)がぐるぐるまわり、除湿機が、さわやかな音をたてている。月産生産量は20束入、500〜600

個で、県内外に出荷している。最盛期は、盆と正月で夏より冬場の方が需要が多い。

美味しいそばの作る条件はという問いには、自然乾燥が大事です。水とか、原料にはあまり関係ないような話であった。

そばの茹で方は、たつぷりとした熱湯で、ラーメン鍋はダメだそうである。

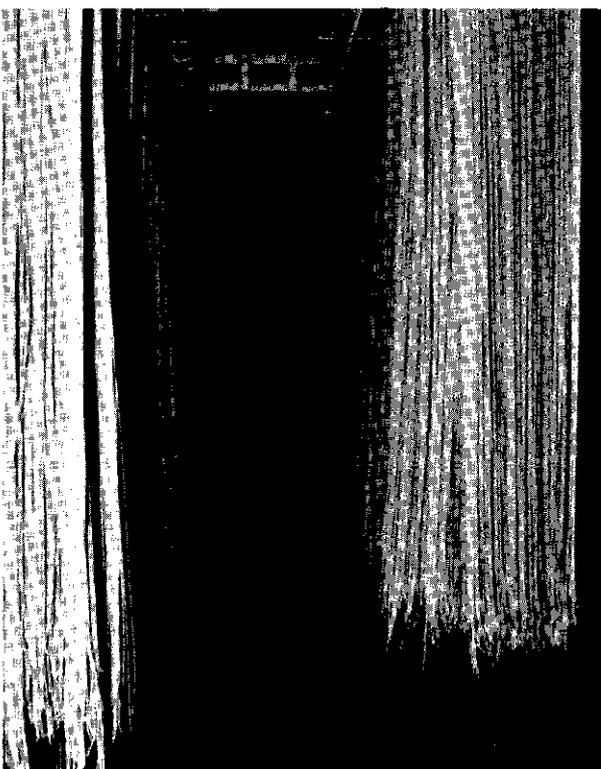
包装、出荷場ではトン、トンとそばを揃える音、サラ、サラとパラピン紙(包装紙)の音が聞こえる。

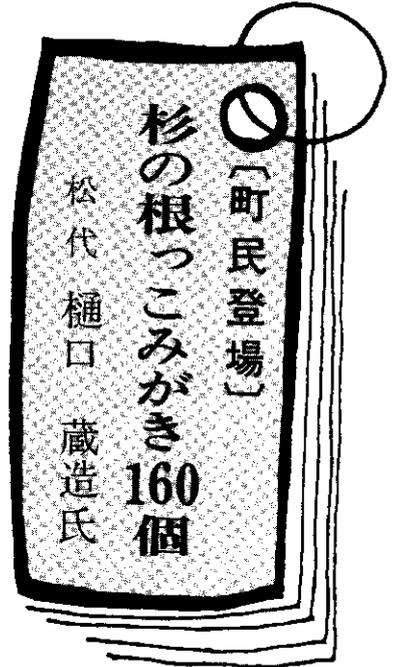
なお、日の出そばは昭和59年度、新潟県推奨優良品に認定された。

包装風景



24時間かかって乾燥される





太い根っこが、こうなっていてねと説明する樋口さん

樋口さんは、玄関先で美しいサツキの手入れをしていた。花が、もつたないです。でも、こうしないと来年度の花が付かないです。よと花をとる。そんな話をしながら、居間に案内された。

どんな切掛で、根っこ(切り株)研ぎが始まったのですか。どこの部落でもやれる、元手もいらぬ、松代の特産物になるのではないか。そんな事から6人の仲間が4年程前から始めました。

雪消えとともに、5月いっばい位で杉の根っこを集めます。杉の皮のついてる部分は、「竹べら」で取ってきた時直ぐにはがします。集めた根っこは、2ヶ月位かけて乾きます。

特に大切な部分(枝ぶり?・根ぶり?)のところには、水で湿した布か、藤づるをまいて(残すため)杉の葉で燃す(柔らかい部分をとるため)その後、ワイヤブラシで研ぎ灰をおとす。つぎに、タワシ(葉で造ったもの)で研ぎ最後に、柔らかい布で光沢がでるまで研ぎ、ニスで3回塗って仕上げとなります。今までに何個位研ぎ(造り)ましたか。160個位だと思います。でも気

に入ったものは、一割位しかないのでですね。

大きき、型にもよりますけど一個仕上げるのに、どれ位の日数が必要ですか。

3〜4日もあれば出来るでしょう。

二階の床の間に飾られてある一つをゆび指して、95年間も放置(伐採してから)されていた根っこです。すぐ裏の大明神と

## かび

うっとうしい梅雨どきは、かびのシーズンです。とはいっても、最近では、冷蔵庫の普及で、昔のような毒々しいアカヤオのかびを見ることは少なくなりました。

かつては、梅雨の終わったあと、夏の土用(立夏の前十八日間。七月二十日ごろが入り)には、土用干し、虫干しなどといって、衣類や書物を風にあて、日に干す習慣がありました。

戸障子を開けはなし、綱を張って衣類を満艦飾のように干したりしたものです。最近では、こうした光景もあまり見られなくなりました。



それにしても、かびとわたしたちの暮らしにはいろいろな縁があります。例えば、酒、みそ、かつおぶし、抗生物質などもある種のかびを利用してつくられています。かびにはいろいろな種類があり、人間にとってマイナスになるものもあれば、プラスになるものもあるわけです。

いう所にあつたものとすと、思いう話を語る、樋口さんの顔は明るい。杉の葉で燃したものの、燃さないもの、それぞれの味は、筆では表現ができないものがある。根っこの美しさに感動しながら寄せむね造りの樋口さん宅を後にした。あなたも、根っこを研いでみませんか。

# 生涯学習の時代

3

充実した  
人生を送るために

「生涯教育という用語は、生涯にわたって教育され、管理されるようである」と「生涯教育より生涯学習という言葉を使う人がいます。」

## 整備され始めた

## 生涯教育

中央教育審議会が昭和五十六年にまとめた「生涯教育について」という答申では、まず「教育」と「学習」の概念を明確に分けています。そこでは、「人々が自己の充実・啓発や生活の向上のため、自発的意思に基づいて、生涯を通じて行うのが生涯学習」であり、「生涯学習を援助するために、さまざまな教育機能をもつ総合的に整備・充実しようとするのが生涯教育」の考え方がとられています。

生涯教育に関連する施策を講じ始めています。例えば、日本生涯教育学会が全国の知事部局内三百四十一の部局を対象に行った生涯教育についての調査があります。それによると、回答のあった部局の八割は何らかの啓発・教育・訓練事業として学級、講座、講演会、職業訓練などを実施しており、その半数近くは、生涯教育の考え方に立って行っていると答えています。

も分かるように、かつて総論あつて各論なしなどといわれていた生涯教育も、最近は何ばかりでなく、都道府県の段階でも具体的に施策化するようにしています。

### 学習意欲にこたえる動き

生涯のどの時期にあつても、いまや人々の学習意欲はたいへん高くなっています。そうした学習意欲の高まりにこたえて、行政は教育委員会ばかりでなく、知事や市町村長の首長部局でも、

### 生涯教育推進会議の役割

こうした行政の取り組みを背景にして、いまかなりの都道府県が「生涯教育推進会議」を設けています。ここでは、教育委員会と知事部局との間の連絡調整を行い、いわゆる「タテ割り行政」とならないように、生涯教育施策の一本化を図っています。

さらに、行政が行う事業以外にも、大学の公開講座や民間が開設する学習機会、学習に利用できる施設、指導者、教材などの情報を必要に応じて提供したり、学習しようとする住民の相談にものれるよう態勢を整えているところだ。



## 家族で話し合おう 交通安全

自転車編



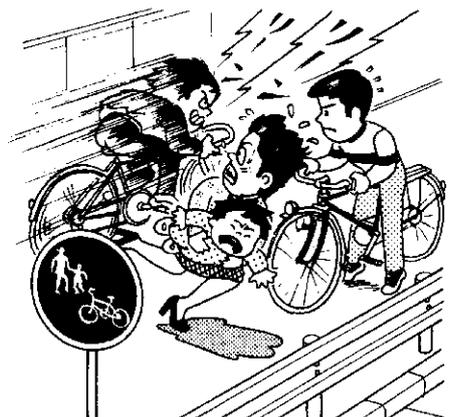
この標識のある歩道は自転車および歩行者専用です。

## “自転車暴走族”になつていませんか

道路標識などで通行してもよいことになっている歩道などは、自転車も人と一緒に通行することができます。これは「車社会」の中で、自転車が「弱者」の立場にあるからです。

しかし、ときには自転車も「強者」の立場になることがあります。つまり、人对自転車の関係になった場合です。速く走ろうと思えば、ミニバイクの制限速度（時速30キロ）以上のスピードが出せます。もし、このような速度で歩行者とぶつかれば、たいへんな事故になります。

歩行者の通行を妨げる恐れがあるときは、「強者の余裕」をもって、必ず一時停止をしましょう。ベルを鳴らして、歩行者をけちらして走る「自転車暴走族」のような走り方は絶対にしないようにしてください。





# 猛毒

## ヤマカガシ

ヤマカガシは、北海道を除く日本全国に生息するユウダ科の爬虫類で体長八十センチ前後。上アゴ後方にドウベルノイ腺と呼ばれる強力な出血毒を出す分泌腺を持つ。

普通にかまれても毒は入ることはないが、ごくまれに奥歯でかまれると、コブラに匹敵する猛毒のまじった分泌液が傷口から体内に入り、体全体の臓器から出血するほか、皮下出血、鼻血、血尿、血便が出、放置すれば死亡する。

治療方法は、溶血性の猛毒のため、全身の血液交換しなくてはならず、愛知県の中学二年生が、全国で二人目の犠牲者となっていました。

これも無毒と思われる処置が遅くなったためです。

しかし最近、群馬県の『日本蛇族学研究所』で毒を中和できる血清が開発され安心されましたが、これも現在三十本しかなく、やはり第一に「一般の毒へ」と同じ注意をほらい、むやみにもてあそばさない」ことが必要と、研究所では話しています。

これからの季節、屋外で活動する機会が多くなりますが、くれぐれも注意して下さい。

今日も今夜も

防災シリーズ ③⑦

の用心

### 戸籍の窓口

五月受付分

幸せ多い人生を(結婚)



- 樋口繁勝・若井恵子 (田野倉・大天京)
- 中沢元市・佐藤三枝子 (寺山・小林)
- 関谷真一・藤巻ますみ (松代・勘助)
- 若井三義・若井なおえ (蓬平・大工)
- 佐藤茂建・佐藤キヨノ (室野・紋仁)
- 室岡善明・福島美奈子 (仙納・紙屋)
- 井上 覚・宇賀田百合子 (寺山・久助)
- 柳 幸伸・山本敏子 (松代・緑屋)



げんきなよい子に(誕生)

- 鈴木啓一 父誠 母豊子 (長男・松代・はちぜん)
  - 山本里枝 父耕一 母千枝子 (長女・大伏・ばんねんど)
  - 関谷和希 父 功 母由子 (長男・菅刈・大門)
  - 柳奈緒子 父芳健 母洋子 (長女・蒲生・柳屋)
  - 萬羽信子 父二男 母純子 (二女・松代・まるまんや)
- 二冥福を祈ります(死亡)**
- 山岸喜三郎 78歳 蒲生 さじん
  - 佐藤ハナ 78歳 滝沢 宗衛門
  - 池田勘蔵 82歳 蒲生 長吉
  - 若月秋人 8歳 大伏 重円
  - 菅井アイ子 79歳 小荒戸 沢入
  - 池田シゲ 84歳 筋平由右衛門
  - 柳 コノ 86歳 松代 為吉
  - 山岸フミ 82歳 蒲生藤佐衛門
  - 若井三好 77歳 池尻 小林

### 畳の手入れ

梅雨どきは、から拭きと風がとおるような工夫を

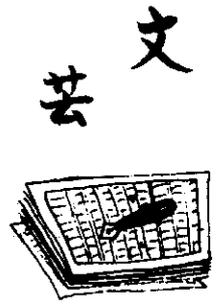
畳は水分が大キライ。特に梅雨どきは畳の大敵。日当たりや風通しの悪い部屋では、畳が白くかびてしまいます。

そこで、畳の一方を持ち上げて空きかんや板を下にかませておき、裏側にもよく風を通すように扇風機をあてましょう。

特に、こまめから拭きをして、湿気を拭きとることも大切です。

畳の汚れはなるべく晴れた日の午前中に酢水で拭く

畳のためには酢水で拭くようにしましょう。洗剤は浸透性が強いので黄ばみの原因になります。バケツ7分目ぐらいの水に、酢を大さじ2杯ほど入れます。かたくしぼったぞうきんで拭いたあと必ずから拭きを。窓を開け放して風通しをよくすることが大切です。



### 短歌春の匂い

下山 埋れ木

埃あび小さくなりし残雪も山川  
埋めし魔の雪なりし

金輪際懲りたる雪も消え果てて  
またも出でにき懐しの故郷

早春にやさしく芽生ゆチューリ  
ツブ豪雪の下より春を告げおり

雪解けの増して濁れる越道川  
そこはかとなく春の匂いす

陽に灼けし体臭強く放つ児ら泥  
水しきり汲み交わしおり

ぜんまいの綿とる手元忙しく  
蛙賑わし夜は更けてゆく

### しぶみ句会

山鳩をひねもす聞いて谷田植う  
鋤杖をして蛙の火を見守れり

公明

鶏足山緑濃くして春深し  
春惜しむ山菜ふるさとツアー客

立石

虫探す鳥蛙に居て代掻きす  
手振りでは解せず春耕機を止めぬ

枯水

禅寺を借りて山菜まつりかな  
俳友の集い待つ間の新茶かな

淡水

菅笠を取れば長閑けし村百戸  
村中が蛙の声に埋れけり

静風

淡緑霞にとけし鶏足山  
寂光の連山鶯鳴きわたり

草人

田一枚植え急ぎたる雲重し  
子ら遊ぶ林の陰や木の芽風

漣舟

種子播くや仲々場所が定まらず  
代掻きの泥の顔向け笑いけり

紅茶

嫁が来て部落二十戸春霞  
一斉に単伝山の新芽萌ゆ

常仙

母の日や嫁の送りしカーデイガ  
ン

新緑にすっぱり村は包まるる  
八千代

初孫にうぶ湯つかわす五月晴れ  
新緑の松亭神社の初登り

美根

五月晴れ耕運機の音高々と  
木の芽和え老の調理の喜ばれ

一元

信号を待つ間の風や夏はじめ  
若葉風大本堂を開け放ち

六花

### 蒲生句会

蝌蚪生れ未だ円陣を解かず居り  
(蝌蚪〓おたまじやくし)

遅口のぜんまい出づる捨田べり  
ぜんまいの筵をかえす仔の風

耕山

蛙たち押しくりながら代を搔く  
笠重し襟につめたく田植え雨

鐵堂

雨合羽田植え夫婦の笠傘  
口ずさむ記憶の唄や田を植える

耕人

芍薬や亡母は下駄好き忌は過ぎぬ  
足裏に毛虫潰せし悔い少し

ふさ女

雨の舗道に桐の花墜ち匂えりき  
龍峰

## 園芸一口メモ

|| 松代園芸愛好会 ||

### 樹形のいろいろ

(10) 三幹

三幹が一体となって、一もとの木としての総合美を構成する樹形です。各幹の比率は、主幹に対して副幹は三分の二、添木は三分の一くらいが良いでしょう。

#### 根張り

露出した八方根張りが理想です。

#### 幹

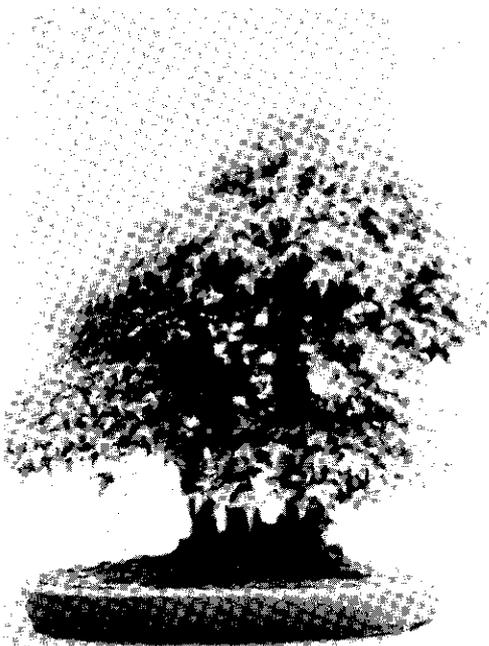
枝を幹にしたものはダメで、ちゃんと根元から分れているのが望ましいです。主幹を前面にするのが、遠近感が出てよいのですが、それにこだわらず、その木の個性をとらえて正面をきめたいところです。

#### 枝

主幹の枝は副幹、添えの樹頂までは、内側に向う枝はつけません。裏枝をきかせて、奥行を出すようにします。

#### 樹冠

主幹の樹冠は、直幹の樹冠と同じようにします。副幹添えの樹冠は独立した樹冠にすることが理想ですが、主幹の枝の一部のようになってもかまいません。



カエデ三幹